

講座実施報告（FIC 会員向け）

講座名	2 月 FIC の森活動日		
開催日時	2025 年 2 月 11 日（火）	9 時 30 ～	14 時
開催場所	君津市馬登 FIC の森	参加者	11 名

①活動概要（FIC 会員向けであることを意識して作成をお願いします）

年の初めにあたり、FIC の森全体を把握・再確認する意味で、境界標をすべて確認しました。あわせて道路境界にある柵の支柱とロープが痛んでいたのを整備した。

今回は新入会員 2 名に参加があり、FIC の森を把握するに好都合でもあった。ただ境界標はあまり確認することは少ないので、アズマネザサが繁茂する中を藪漕ぎで進んで確認する境界標も多くあった。境界標は多くの参加者が知る必要で 9 名での確認し、道路柵は 2 名で整備した。年 1 回程度は境界進入路の藪は刈り取る必要性もあると感じた。

なお事前に千葉森林管理事務所に境界標を確認したところ、国有林と民有林との境の境界標は国（関東森林管理局）で管理しているので、倒れているものはそのまま定められた標識を国の方で設置するとの事であり、その他のエリアの標識については市販の標識等で良いとの事でした。今回確認した全ての境界標のデータを保存するとともに千葉森林管理事務所に提供することとします。道路境界の柵については支柱 3 本を新しいものと交換し、ロープ（トラロープ）は草刈り等で切れていたため繋ぎ止めた。付近での草刈りは十分注意することを肝に銘じる必要がある。

内山緑地のガーデナーハウスでの昼食後の打合せでは、次回 3/13（木）では、5/6 の FIC の研修会が FIC の森をテーマで実施予定であるので、その準備等の実施と 2025 年度の年間活動予定を決定します。皆さま、本日は休日の中での参加いただきお疲れさまでした。

②珍しい動植物、珍しい生態（写真があれば紹介）

FIC の森は、シナマンサクが満開しオニシバリも蕾が大きくなり、テンダイウヤクの幼木がそこら中にあります。エビネやメギの種子も目立っていました。



③講座内容、運営で良かった点、今後にお勧めしたい点

④講座内容、運営で反省する点、今後はお勧めできない点

⑤ヒヤリハット（担当理事と確認後、特になければナシと記載）ナシ

（FIC 参加者）：稲岡一義・植村敦子・大中和茂・齋藤歩・竹内進・寺嶋嘉春・山浦信介
山家公夫・横山誠司・和波牧子・神子秀男